

第1部 ♦

《温故—故きを温ねて》わたしたちの音楽の原点を
 瀧廉太郎 信時潔 山田耕筰 ソプラノ
 荒城の月 鴉 かやの木山の
 橋本國彦 中田喜直 團伊玖磨 ピアノ
 斑猫 霧と話した 紫陽花
 メゾソプラノ

第2部 ♦

《知新—新しき“も”知る》若手作曲家の作品に臨む
 菊地 由記子・引野 裕亮・松岡 あさひ・松下 優士
 三宅 悠太・箭内 明日香・山中 悅史(50音順に記載)

《今の私—私のいま》

ショパン 即興曲第1番

梁塵秘抄による歌曲より

新実徳英 「遊びをせんとや生まれけむ」

A・コーブランド At The River, I Bought Me Cat

... 他

♦ 二縄みどり
 Midori MINAWA

♦ 秦はるひ
 Harumi HATA

Keiko AOYAMA

青山恵子

さくら

今、燃めいて！

vol. 2

2021年12月12日《日》

銀座 王子ホール

14時開演【13時30分開場】

一般 5,000円 学生 3,000円 [自由席]

お問い合わせ
お申込み

E-Mail : parisharu2006@gmail.com 《アトリエ・ッシュ》
FAX : 03-3369-1929《青山》



神々の国、出雲で生まれ、毎日近くの神社で鬼ごっこやかくれんぼ、川でメダカやタニシを捕って育った私。音楽の「お」の字も無く、友達の真似をしてピアノを習い始めたけれど、ズーッ！と紙鍵盤…。ピアノの先生が「恵子ちゃんは歌の方が良さそう」と、中学に入ると、勝手に島根大学の声楽の先生の所に連れて行かれて歌を習うことになった。大学では、イタリア歌曲、ドイツリート、オペラを勉強していましたが、大学院三年生の時に出会った日本歌曲が大きな転機となりました。この道はいつか来た道～と歌い始めたとたんに、故郷の田んぼ道が浮かび、（本当は北海道の風景なのですけど……）懐かしさと、自分の思いを自分の言葉で歌える事に感動し、日本歌曲の虜となって日本歌曲一筋の道を歩むことに。ところがその道のりは長く険しく泥沼状態になることもしばしば。でも民謡や邦樂の中にある日本人の明るく、そして細やかな表現に魅せられ、ここまで来ました。やっぱり私は生糸の田舎の日本人なり！最後まで日本の心を歌い続けます。

青山恵子

何でもやってみよう！の精神でここまで来た音楽歴半世紀。オペラからリート、日本歌曲、映画音楽、ミュージカル、何でも大好き！幼稚園の時はいじめられっ子で毎日職員室に駆け込んでいた私！でもそんな時に先生に連れられて地元の放送局に行き1人で歌った。突然歌に目覚めた5歳の子。《歌って楽しい！》小学校3年生の時、音楽の先生がNHK（熊本）の児童合唱団のオーディションを受けましょうと何人か連れて行かれて、私が合格。あら！私って歌が上手？と思い込む。（思い込みも大切！）それからは合唱漬け。《歌って楽しい！》中学2年生の時、声楽の個人レッスンに通い出す。今度は歌手になりたい、ドレスを着て広いホールで歌いたい！そんな夢みる女の子が大学へ進み、大人になって、ずっと今も歌い続けているなんて幸せ！《歌って楽しい！》教える事も大好き！教えているとアイデアがどんどん生まれてくる。若い人たちとの交流に恵まれたのも大学に勤められたから。私を活性化させてくれた学生たち、有難う！そして何よりいつも私のコンサートにお付き合いくださるお客様に感謝！
《音楽ってなんて素敵！》

三縄みどり

気がついたら、ピアノを習わせられていた。母が厳しいピアノ教師で、泣きながら練習した記憶があるが、それでも辞める！と言わなかったのは、音楽が好きなのか、はたまた超素直な子だったのか、お決まりのコース、芸高、芸大に進んだが、大学に入って作曲科の友達の出来立ての作品を演奏することが面白くてたまらなかった。何しろCDもない赤貧の世界である。ピアノ科が皆弾いているショパンやロマン派には興味を持てず、バッハか、近現代の作品か新作で大学時代を過ごした。1年上に輝く歌姫が何人もいて、恵子さん、みどりさんもその中にいました。伴奏も大好きで、手帳が真っ黒になるほどだった。卒業後、何の計画もないまま行き当たりばったりで演奏を続けながら、後進を育てることも生活の中心だった。知られざる作品に興味があるのは今も変わらない。今宵、若い作曲家たちの新しい作品も含んだプログラムで2人の先輩と演奏できることを最高に幸せと思っています。
注：今はショパン好きです。

秦はるひ

